

行政視

先進地に学ぶ

産業経済常任委員会

視察日：平成21年2月2日～4日

視察先：大阪府和泉市、三重県松阪市、

大阪市

【和泉市】…ふるさと観光推進事業について

和泉市は、関西国際空港に近い立地を活かした産業拠点整備され、綿・スフ織物、人造真珠、ガラス細工が特産品であり、賑わいと活気に満ちた活力創造環境づくりを進めています。ふるさと観光推進事業は、平成12年4月にスタートし、市内11商店街の合同大売出しを実施、お買い上げ利用当選者に、豪華行楽弁当付き市内名所や史跡巡り、地元産業観光バスツアーに招待し、観光推進及び市内商店街利用と消費の促進を図る事業であります。

【松阪市】…松阪農業公園ベルファームの管理運営について

松阪市は、三重県の中央部に位置し、人口約17万1千人、松阪牛で有名であります。松阪農業公園ベルファームは農業公園という新しい形態の市民公園として、食育や緑育の推進とともに都市と農村の交流拠点、体験施設として地域の農林水産業の経済的向上を目的として平成16年4月に開園され、平成19年度から、公募による指定管理者で運営され23年度は管理料を0にする計画であります。年間入場者は57万人。



松阪農業公園ベルファームにて

【大阪市】…大阪産業創造館の施設概要並びに中小・ベンチャー企業への経営支援について

大阪府は、大阪府の中央に位置し、人口約265万人、総生産22兆円と西日本最大であります。産業創造館は市の中小・ベンチャー企業支援拠点として平成13年1月開業、意欲・やる気のある中小・ベンチャー企業活動支援のサポート拠点として年間30万人以上に利用されておりました。以上3市を訪問して、地域性、とりまく環境の違いはありますが奥州市の今後に大変参考になるものと思われました。

建設環境常任委員会

視察日：平成21年2月2日～4日

視察先：千葉県木更津市、南房総市、

市原市

【木更津市】…「きさらづ安心・安全全メール」、「自主防災組織」について

「きさらづ安心・安全全メール」は、子どもや高齢者を狙った事故・事件の防止、また地震や風水害などの情報伝達を迅速に行うため、携帯電話やインターネットを通じて市民に発信されるシステムです。奥州市においても現在実施されているシステムの検証を行い、今後検討していく必要があると思われます。

「自主防災組織」は、自然災害や非常時に地域のみんなが協力して、組織的に行動することが被害を最小限に食い止めることとであり、自治会、町内会を単位に組織作りが行われています。奥州市においても昨年の地震を教訓に地域の自主性を尊重しながら組織作りを進めていく必要があります。

【南房総市】…環境施策について
環境基本計画の策定と併せ、資源循環型社会の実現を目指した活動、環境保全全般に関する啓発活動等を積極的に行っており、奥州市においても参考にすべき取組みがあると思われます。

【市原市】…協働によるまちづくりルール策定会議について

市原市では、地域住民、ボラ



木更津市アクアラインにて

ンティア団体、NPO、事業者など市民と行政の協働による「新しいふるさとづくり」を基本理念に掲げ、「市民の力」や「地域の力」をまちづくりに活かしていくため「協働のいちほら まちづくり会議」が設立され、課題解決や協働事業の推進に向け、市民と行政とのコイディネーターの役割を果たしています。奥州市自治基本条例の中にも協働による地域づくりが述べられており、参考にする必要があります。